

病院名 神戸市立医療センター中央市民病院

所在地 〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 2 丁目 1-1

キーワード: 人工関節・重度外傷・脊椎・手外科・マイクロサージャリー

3次救急病院（ドクターカーあり、ヘリ搬送受け入れ可）

スタッフ

安田 義(副院長兼部長)、大西英次郎(医長)、太田悟司(医長)、竹内久貴(医長)

塚本義博(医長)、山下伸之輔(医長)、光澤定己(医長)



専攻医

瀬川湧生(4 年)、下山貴幸(3 年)、中西優斗(3 年)、古庄裕也(3 年)

井尻健太(2 年)、酒匂大揮(2 年)、原 武史(2 年)、谷本将崇(1 年)

専門医、指導医の有無

日本整形外科学会専門医・指導医、日本リウマチ学会専門医・リウマチ指導医

日本脊椎脊髄病学会指導医、日本手外科学会手外科専門医

施設認定

日本整形外科学会認定研修施設

日本手外科学会 専門医制度認定研修施設

日本リウマチ学会認定教育施設

日本脊椎脊髓病学会認定 脊椎脊髓外科専門医施設

手術内容

2023 年手術件数 1871 件

特徴:

当院は兵庫県神戸医療圏の中核病院として、救急医療、高度医療を提供しています。当院救急は神戸医療圏のみならずより広範な地域から患者を受け入れており、厚生労働省が発表した令和3年「救命救急センターの評価結果」で全国第1位に選ばれ、これで8年連続第1位に選出されることとなりました。多発外傷や重度外傷（骨盤骨折や開放骨折）、脊椎損傷、切断肢などの3次救急病院ならではの症例や大腿骨近位部骨折や橈骨遠位端骨折などのcommon fracture も数多く、様々な外傷症例を経験できます。

外傷治療は整形外科医の基本であり、当院では診断から治療まで標準的・系統的外傷治療を学ぶことができます。急性疾患に加えて、関節、脊椎、上肢などの慢性疾患も多く、各専門分野の指導医が責任を持って指導し、整形外科のあらゆる疾患に対応できる体制を取っています。

病院へのアクセスは神戸の中心地である三宮から15分以内で、車、電車、自転車、走るなど専攻医の先生の通勤手段は様々です。勉強会や学会へのサポートも非常に充実しています。どの学会でも参加可能です。上級医の指導を受けながら学会で発表したり、地方会、医局内の勉強会でも発表をしたりしていただけます。

他科との関わりについてですが、院内各科は非常に積極的に相談に乗っていただけます。特に私達がお世話になる麻酔科、救急科、感染症内科、総合内科などはとてもフットワークが軽く、すぐに相談に乗っていただけます。手術室もいつも快く緊急対応してくれます。3次救急病院＝忙しい、専攻医には敷居が高いというイメージがあるかもしれませんが、スタッフの人数が多い分オンとオフがはっきりしており、難しい症例は上級医が責任を持って指導します。現在8人の専攻医が在籍していますが、我々指導医も専攻医の先生から学ぶことが多く、日々成長させてもらっていると感じています。

これからも数多くの専攻医の皆さんと一緒に働けることを、心待ちにしています。